

上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会（第3回）

議事要録

- 日時 2017年9月25日（月）18時30分～19時50分
- 場所 忠生市民センター 2階ホール
- 出席 委員：中丸一男会長、安達副会長、中丸康明委員、彦根委員、田中委員
- 欠席 0名

- 事務局 : 水島環境資源部長、田中循環型施設建設担当部長、
宇野環境資源部次長兼3R推進課長
循環型施設整備課 : 守田課長、深澤担当課長、菊地主任、中島主任
環境政策課 : 塩澤課長
資源循環課 : 窪倉課長、林担当課長
コンサルタント : 株式会社 日建設計

- 傍聴者 0名

- 配布資料
 - 資料1 第2回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
 - 資料2 「上小山田地区資源ごみ処理施設の施設整備コンセプト」検討の進め方(案)
 - 資料3 上小山田地区資源ごみ処理施設に関わる「生活環境影響調査」について
 - 資料4 今後の進め方(案)・地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について

1. 開会の挨拶

水島環境資源部長より、開会の挨拶を行った。

2. 事務局紹介

町田市の担当について、職員紹介を行った。

3. 協議事項

○ 議題1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1を用い、事務局から、第2回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・中丸(一)会長 ただいまの説明についてご質問はないようなので、次の議題に入らせていただく。

○ 議題2 上小山田資源ごみ処理施設の施設整備コンセプト

資料2を用い、事務局から、上小山田地区資源ごみ処理施設の施設整備コンセプトの検討の進め方(案)について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・彦根委員 コンセプト要素-1に、排水に考慮した設備にすることを加えていただきたい。この土地は谷になっており山からの水が入ってくるため、その水がこの敷地内に入らないような構造にしてほしい。また、谷底にあるので環境を明るくしてほしい。その他の関連事項の中でそれらのことを盛り込んでもらいたい。
- ・事務局 雨水対策等については、これからの施設計画にて検討する。
- ・田中委員 リニア整備に関連して、現状250mmの雨水管等が入っているようだが、JRでは、完成後500mmの管にして対応するということである。排水については、JR側ともうまく調整していただきたい。
- ・事務局 JRのリニア整備事業については、庁内で情報をきちんと共有しており、道路部も私どもも承知している。むだにならないように調整し、課題が残らないように対応させていきたい。
- ・安達副会長 JRのリニア整備にあたり、北側に道路を新しくつくるとのことだが、今回の資源化施設とも重なるのではないかと思う。この辺の話はどのようなになっているのか。
- ・事務局 北側の道路についてはJRにて検討しており、市の窓口は企画政策課である。企画政策課とも調整しているが、最終的な結論はいただいていない。お話しできる段階になったら、説明をさせていただく。

○ 議題3 上小山田地区資源ごみ処理施設に関わる「生活環境影響調査」について

資料3を用い、事務局から、生活環境影響調査について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・田中委員 水環境について、下水や雨水を新しくできた道路のほうに流すという話があったの

ではないか。鶴見川系の本管に持ってくるという話があったと思う。

- ・**事務局** 公共用水域への影響ということでご意見をいただいている。公共下水道ということで検討していく予定ではいるが、まだ具体的に協議や設計が進んでいない。具体的に決まったら、その内容に合わせた調査項目としていく。
- ・**田中委員** やはり基本的には道路ができると雨水の問題が一番の問題になる。道路ができれば側溝もできるし、雨水管や污水管も入るかもしれない。
- ・**彦根委員** 他の同様の施設でベンゼンだとかいろいろな問題がありました。そのようなものは測定しないのか。調べるという項目に入れておいたほうがいいのではない。
- ・**事務局** 生活環境影響調査というのは、その調査項目は決まっているが、必要であればきちんと調査した上で施設の計画をさせていただく。
- ・**彦根委員** それは積極的に取り入れてもらいたい。
- ・**事務局** リレーセンターみなみでも、容器包装プラスチックを圧縮して梱包する施設も、そういったものが出ていかないよう、活性炭で吸着する対策を行っている。生活環境調査を進めていく上で検討させていただきたい。地区連絡会では、今後どのような調査を行うかというのは報告させていただきたい。
- ・**彦根委員** 活性炭で吸着するのは建物外に出す部分のはずである。施設内の作業員は活性炭を通らないものを吸っていることになる。そのような点も考慮してやらなければならないと思う。
- ・**中丸（康）委員** 施設の安全性はどうか。
- ・**事務局** 安全な施設として計画をすすめていく。リレーセンターみなみも作業環境をよくするために排気口などもきちんと整備している。そのあたりも踏まえて計画をさせていただく。
- ・**中丸（一）会長** 大気環境の騒音や振動は敷地境界線で測定するだけか。忠生 579 号線を車が走ると、その振動・騒音はどちらからのものか、どのように考えるのか。
- ・**日建設計** 騒音、振動については、施設の騒音・振動と、パッカー車等の車の騒音というのが区別されている。施設の騒音については建物内で資源ごみを処理し、常時閉めるような形にして騒音が漏れないような基本的な対策をとる。パッカー車や積み込んだ車の騒音は、台数を極力減らし、敷地内においても低速走行で実施することで、制限することになる。基本的には、敷地境界の4方向で評価する。
- ・**中丸（一）会長** 忠生 579 号線ができ車両が走ると、道路を通行する際の騒音・振動も含まれるが、それは分けられないため、あくまでも境界で基準に合っていればよいということか。
- ・**日建設計** そういうことになる。道路交通騒音と一般環境の騒音振動の、両方を評価し、両方もクリアができていれば問題はないということになる。
- ・**彦根委員** 施設完成後、施設周辺の影響を予測した調査をするわけですね。
- ・**事務局** そうです。施設ができて環境を保全するような形とするために、事前に調べて、環境アセスと同じように予測して、今の環境を保全していくことを目的とし、そこで影響が出るということであれば対策をして、影響が出ないようにしていく。
- ・**事務局** 土壌については、生活環境調査のほかに、過去の土地利用の状況を確認しながら、土壌調査を実施する。

○ 議題4 今後の進め方について・地区連絡会等における今後の協議事項について

資料4を用い、事務局から、今後のスケジュールについて説明した。

(以下、質疑応答)

- ・ **田中委員** 現地視察について、測量が終わってからの方がいいのではないかな。あの狭いところに10人も20人も行くというのは、地元として余りよくないのではないかなと思う。
- ・ **中丸(康)委員** この地区連絡会の最初のほうで、まず現地を見なくて検討できないのではとの話があったが、今の状況では御案内するような状況ではありませんという説明で、行っていない。今回行くことに予定されたということは、それから何か進展があったのか。
- ・ **事務局** 道路部で現地視察したいと地権者の方々にお声かけをしたところ、了解をいただいたという話があったため、建設地を視察する際に地権者にお声かけをして、了解が得られた段階で視察をする形で考えている。
- ・ **田中委員** 確認だが、今回の施設候補地は町田市土地に一般の地権者の土地が少し含まれる。その含まれているその土地の地権者は、いいですよということを言っているようであるが、一部の地権者とは協議中であると聞いている。
- ・ **事務局** おっしゃる通りである。改めて私どものほうで地権者の方にお話ししてご理解いただいて、それで建設地の視察をさせていただくことを考えている。上小山田町内会の会長の田中委員がいらっしゃるため、そういったご心配もありますので、ご相談させていただき、特に問題がないということであれば、視察を年度内に実施させていただきたい。上小山田町内会、地元の町内会の会長さんを初め、役員の方とお話しさせていただいて、そこで最終的に判断させていただければと思う。
- ・ **中丸(康)委員** 概ね、何月ぐらいを予定しているのか。
- ・ **事務局** 今の段階では2018年2月頃を予定している。日程を決める前に、上小山田の町内会の会長とお話をさせていただき、具体的な日程を調整させていただければと思う。
- ・ **田中委員** 私は町内会の方々の意見を吸い上げて代表して市に言う立場であり、私の一存で施設建設予定地の視察の許可は出来ない。今度の上小山田地区総会は3月になってしまう。
- ・ **安達副会長** この問題は、市の施設等を建てるに当たっては地権者といろいろな問題が出てくる。市としてはどこまでフォローしてくれるのかというのも1つの大きな問題である。町内会としての協力体制もとっていかねばいけないが、地元の人たちがどこまで理解してくれるか、せめてそこまで運んで持っていけないと、さらに反対意見が大きくなってしまおうと思う。
- ・ **中丸(康)委員** 現地は579号線がどうなるかわからないうちに見ても仕方がない。建設部の道路工事に当たって、撮ってある航空写真などを見るぐらいで現地視察にかえればいい。
- ・ **事務局** 委員の皆さんに心配していただき、ありがとうございます。建設する際に現地を見ないと、という話があったため、そちらを優先させていただいたが、助言頂いたとおり、航空写真等の提供であれば、そういう形にかえさせていただきたい。配慮していただきましてありがとうございます。
- ・ **安達副会長** 今度、北側の道路ができないといったことになると、リニアに関しては白紙状態に戻ってしまうと思うが、北側に抜ける場合、市の施設をつくることでバッティングするような箇所も出てきているため、市としても話をしなければならない。JR東海さんと一緒になって、地権者とどういった対応をしていくか、その辺も話すべきではないかなと思う。
- ・ **事務局** ありがとうございます。ちなみに北側道路の関係では施設の位置を押さえているため、そちらに影響しないような形で計画してもらえよう、JRと話をしている。確認次第、

またこの場等で報告をさせていただきたい。

3. 事務連絡

○ 第4回地区連絡会の日程調整

- ・事務局 第4回地区連絡会について、2月9日金曜日、今回と同じぐらいの時間とする。詳細は後日御連絡させていただく。

4. 委嘱式

○ 委嘱状の交付、会長・副会長の選出

地区連絡会の委員の皆様が2017年10月30日であったため、次期の地区連絡会の委員の委嘱式を行った。

- ・事務局 町田市ごみの資源化施設連絡会設置要綱に基づきまして、会長と副会長を改めて選出させていただきたい。
- ・中丸(一)会長 今回をもちまして会長職は辞退させていただきたい。会長職は、残りまして4名の方の中から1名をまず選出いただき、その次に副会長を選出いただきたい。
- ・彦根委員 中丸さんに決めたときも、地元ということでやってもらったと思うので、田中さんに今度やってもらったらどうかと思う。

(異議なし)

- ・中丸(一)会長 会長は田中さんをお願いします。次に副会長ですが、今まで安達さんにやっていたので引き続きお願いしたいのですがいかがですか。

(異議なし)

- ・安達副会長 よろしくをお願いします。
- ・事務局 会長と副会長を委員の皆様で選出していただき、ありがとうございます。会長と副会長のご挨拶をいただきたいと思います。
- ・田中会長 皆さん、改めましてこんばんわ。各委員さんのご協力を得まして、今後とも2年間進めていきたいと思っております。また、これを進めるに当たりましては、町田市さんの事務局にもいろいろとお世話になることがございますので、その辺もひとつよろしくお願いします。

(拍手)

- ・事務局 ありがとうございます。続きまして、副会長に就任していただきます安達様からご挨拶をお願いします。
- ・安達副会長 改めましてこんばんわ。中丸会長、ご苦労様でした。私が引き続き副会長という職責で2年間頑張らせていただきたいと思います。市役所もこれから地権者様たちと交渉が大変だと思います。我々、一委員としましても、できるだけことは協力させていただきたいと思っておりますので、5名いらっしゃるのですが、この中でいろいろ意見を交換して、一日も早くスムーズに建設できますように頑張っていきたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

(拍手)

○事務局 ありがとうございます。

4. 開会の挨拶

田中循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。(19時48分 閉会)